

令和7年度 学力向上を図るための全体計画

○練馬区 教育目標

- ・夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成
- ・教育基本法に則り、学校・家庭・地域社会との連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図る。
- ・児童福祉法に則り、子供の利益を図り、自らの「育つ力」と家庭の「育てる力」を大切にしながら、心身ともに健やかな子供の育成を図る。

○施策の重点 ICTの推進、学校と地域の連携

○学校、地域の実態

- ・旧川越街道に面した昔ながらの商店街と、自衛隊の官舎、集合住宅、個人住宅などが多く立ち並ぶ。
 - ・地域は協力的で、特に、北町商店街や陸上自衛隊との関わりが深い。
 - ・北町西小学校・北町中学校が隣接し、小中一貫の連携を図っている。
- 児童の実態・・・明るく素直である。

学校目標

- やさしく…他人の気持ちを理解し、思いやりの心で接する子供
- ◎かしこく…自ら考え、正しい判断をし、よりよいものを求める子供
- たくましく…心身の健康に努め、ねばり強く活動する子供

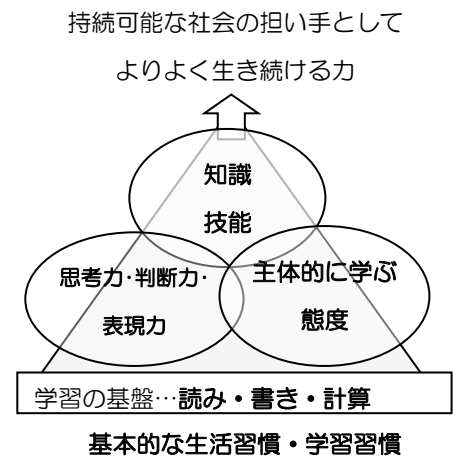
ア:学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- 1 年間指導計画に基づいた指導の実施
- 2 基礎的・基本的な学習内容の定着
- 3 規律ある学習習慣の確立
- 4 ICT 機器の積極的な利用と法令遵守
- 5 健やかな体の育成と体力の向上
- 6 研究・研修の充実と教員の指導力向上
- 7 学校 2020 レガシーの視点の導入
- 8 小中一貫教育・幼保小連携
- 9 安全・安心を守る環境整備

イ:各教科などにおける指導の重点

- (ア) 各教科・・・思考力・判断力・表現力等の育成に重点をおく。問題解決的な学習や体験的な活動を重視し、自ら学ぶ意欲や態度を育成する。多様な考えや立場の人との協働を通して、深い学びを実現する。個別指導や習熟度別指導を展開して、児童一人一人が基礎的・基本的な内容を習得できるようにする。
- (イ) 道徳科・・・自己理解を深める道徳的心情や判断力、実践力を育成する。「善悪の判断」、「親切・思いやり」、「規則の尊重」、「生命の尊さ」を重点内容として扱う。
- (ウ) 総合的な学習の時間・・・地域、人、自然と関わりながら体験活動を展開し、豊かな心と思考力を育成する。カリキュラム・マネジメントの視点で他教科との関連を図る。
- (エ) 特別活動・・・学級活動を通して、受容的な集団を形成し、自主的・実践的な態度を育成する。委員会活動やクラブ活動を通して、望ましい人間関係の形成を図りながら、よりよい生活を築こうとする態度を育成する。
- (オ) 生活指導・・・特別支援教育、人権教育、性教育などを通して、一人一人の個性を大切にし、心身共に健全な児童を育成する。
- (カ) キャリア教育・・・自分の個性を自覚し、伸ばそうとする態度を育成する。自己の学びを振り返り、よりよく学ぼうとする態度を育成する。

ウ:本校における「確かな学力」の形成イメージ



エ:授業改善に向けた視点

(ア)指導内容・方法	(イ)教育課程編成	(ウ)研究や研修	(エ)評価活動	(オ)家庭や地域との協働	(カ)小中一貫教育
・主体的に問題を解決する授業形態 ・話し合い活動や発表場面における効果的な指導 ・体験活動の重視 ・基礎・基本の繰り返し ・学習状況の把握と適切な支援計画 ・算数科習熟度別指導 ・ICTの活用	・朝学習(基礎基本の定着を図る) ・読書タイム(文章や文字に親しみながら豊かな感性を養う)	・学びに向かう力、人間性等をのばすための授業の工夫「主体的に学ぶ児童の育成」 ・全学年、事前や事後授業を含め、一人1回以上の研究授業の実施 ・教職員 OJT の実施	・学習後の振り返りタイム導入による自己評価 ・学年間の評価基準見直し ・保護者に対する評価規準の説明	・地域人材・保護者の協力体制 ・道徳授業地区公開講座 ・学校評議員制度 ・インターンシップの実施	・課題改善カリキュラムによる小中一貫の授業改善 ・校区別協議会や授業参観による PDCA サイクルの実現 ・生徒会と児童会の連携による挨拶運動の実施 ・中学校教諭による出前授業 ・中学校部活動体験 ・サマースクール(中学生によるミニティーチャー)

オ:授業改善策の検討方法

- ・月初めの学年会で、振り返りをする。
- ・年度末に、学年ごと、教科分掌ごとに集まって反省を行い、次年度の年間指導計画作成に生かす。
- ・教職員年度末校内反省で、教育課程や年間行事計画などの見直しを行う。